



名鉄協商 シェアサイクル カリテコバイク

自転車台数

1,823台

ポート数

600ヶ所以上

「カリテコバイク」は

名古屋市内を中心に展開するシェアサイクルです。

車で行くには近すぎるけれど、歩くには少し遠い。

そんな時には「カリテコバイク」。

自転車台数 1,800 台以上。全車電動アシスト付き。

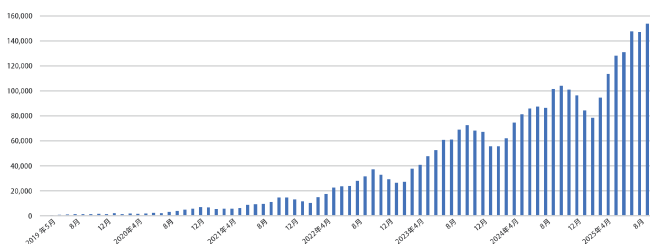
近くの目的地を、もっと近くする新しい移動手段です。

POINT

1

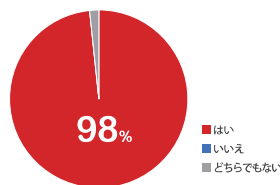
カリテコバイクについて

自転車の数に比例して利用回数が増加しており、合わせてポートを過密に設置していき、利便性の向上を図っています。

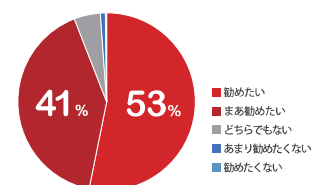


名古屋市からの要請のもと、年に一度実施している利用者アンケートでは、「カリテコバイクを今後も使いたいか。」という設問に対し約98%の回答者が、継続利用の意思を示しました。また、「他人に利用を勧めたいか。」という設問でも、多くの方に「勧めたい」と回答をいただいています。

Q1. カリテコバイクを今後も使いたいですか？



Q2. カリテコバイクをほかの人に紹介したいですか？



〈出典〉2024年度シェアサイクルの利用に関するアンケート（名鉄協商株式会社 名古屋市）N=542

POINT

2

便利なポート多数！

駅直結のポート

名鉄名古屋駅や金山駅など、名鉄グループの強みを生かして駅直結のポートを設けているほか、東海旅客鉄道（JR 東海）と協業のもと、JRの駅においても改札口を出てすぐの場所にポートを設けており、鉄道を降りた先の「ラストワンマイル」を埋める交通手段として活躍しています。



名鉄協商パーキングへの設置

名古屋市内に1900ヶ所以上存在する「名鉄協商パーキング」の余剰地にポートを設けることで、住宅地から都心まで、幅広い地域に効率的にポートを展開しています。



コンビニエンスストアへの設置

地域のコンビニエンスストアにもポートを有しており、地域のモビリティとして親しまれています。



POINT

3

地域警察との連携

地元警察と合同で、アプリでの通知送信や、ポートへのポスター掲示により、自転車の利用に関する交通安全の啓発活動を実施しています。2024年の道路交通法改正では、地元警察・チャリチャリ株式会社と合同で、名古屋駅ならびに名鉄神宮前駅にて啓発活動を実施しました。



POINT

4

MaaSへの取り組み

MaaS への取り組みとして、名古屋鉄道のMaaSアプリ「CentX」と連携しており、アプリからカリテコバイクを用いた移動経路の検索から自転車の予約までが可能です。アプリを通し、シーンに合った移動手段としてお選びいただいています。



POINT

5

コールセンターから集配業務・修理まで自社グループで完結！

コールセンターから集配業務・修理まですべてを自社グループ内で完結し、トラブルにも迅速・丁寧に対応しています。また、各担当で日常的に業務改善の意見を出し合い、サービス向上につなげています。



マチなかドコでも
カリテコバイク。

